

1 願書の確認の仕方

願書(表)

(高校在学時)

赤字箇所については、本人及び第一連帯保証人が記入。
青字箇所については、学校で記入。

(高校等の場合)

様式1号 その1

奨学生願書

該当する□にしてください。
育英事業(口緊急)
奨学事業

※印の欄は該当のものを○で囲んでください。

学校名(大学等出願者は学部(課程)・学科(コース)の名称まで記入。予約出願者は中学校名を記入)		※全日制 定時制		※昼間部 夜間部		学年	
長崎県立 高等学校						1年	
在学地所在地※	正規の最短修業期間 (予約出願者は第一志望校について記入)	※学校種別・通学種別に応じて、希望する貸与月額を○で囲んでください。 予約出願者は第一志望校について○高校在学者は全項目、大学出願者は学校種別のみ○					
長崎 都道府県	平成 年 4 月 入学	※学校種別	※通学種別	※貸与月額			
長崎 市区郡	平成 年 3 月 卒業	国公立	自宅	18,000円	10,000円		
長崎 区町			自宅外	23,000円	10,000円		
長崎 村		私立	自宅	30,000円	10,000円		
			自宅外	35,000円	10,000円		
フリガナ	ナガサキ イクコ	住所 〒 850 - 0861 (※自宅・学生寮・下宿・その他())					
本人氏名	長崎 育子	長崎市江戸町2番1号 育英アパート1棟301号 奨学生の現住所を記入					
※男()女()	昭和 年 5 月 5 日	TEL 095 - 824 - 7501 (携帯電話 080 - 1234 - 9999)					
フリガナ	ナガサキ ヒデオ	住所 〒 850 - 0861					
第一連帯保証人氏名	長崎 英雄	長崎市江戸町2番1号 育英アパート1棟301号 第一保証人が単身赴任の場合、赴任先居住住所を記入					
※続柄(本人の父、母、その他())		TEL 095 - 824 - 7501 (携帯電話 090 - 1111 - 2222)					
就学者を除く 同一生計の家族	続柄	氏名	※同居・別居の別	年齢	※所得の種類	収入・売上金額(税込) 万円	所得金額 万円
	父	長崎 英雄	同・別	45	給与・給与外・未収入	6 6 2	1 4 2
	母	英子	同・別	40	給与・給与外・未収入	8 4	0
	祖母	民子	同・別	70	給与・給与外・未収入		
	兄	太郎	同・別	19	給与・給与外・未収入		
	所得金額合計 ①						1 4 2
就学者	続柄	氏名	※通学別	学校種別		就学者控除額 万円	
	本人	長崎 育子	自宅・自宅外	学校名		3 5	
	姉	花子	自宅・自宅外	※国公立 ※小・中・高・高専・専修(高等)・専修(専門)・短大・大学・大学院		7 8	
	弟	次郎	自宅・自宅外	※国公立 ※小・中・高・高専・専修(高等)・専修(専門)・短大・大学・大学院		4 6	
	就学者控除額計 ②						1 5 9
特別な控除	父子・母子世帯 (一律49万円)				③		
	障害者等のいる世帯 (一人につき99万円)				④	9 9	
	長期療養者のいる世帯 (一人につき43万円)				⑤		
	主たる家計支持者が別居している世帯(単身赴任など) (一律71万円)				⑥		
	火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯 (一律76万円)				⑦		
	大学等出願者本人を対象とする控除	国公立 自宅28万円	又は	私立 自宅44万円	+ 授業料のみの年額		⑧
	控除額合計 (②~⑧の計) ⑨						2 5 8
控除後の所得額 (①-⑨) ⑩						- 1 1 6	
所得基準額 世帯人員 7 人 ⑪						3 0 7	
充足率 (小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで記入。結果が負の値をとる場合、0とする。) (⑩÷⑪×100) ⑫						0 %	

注1 太枠内は大学出願者は空欄で、予約出願者及び高校等出願者は学校で記入。

注2 予約出願者の本人控除額は一律35万円、その他は別添「奨学生推薦事務要領別表1特別控除額表」による。

<願書の確認>

◎『募集要項』又は『推薦事務要領』をもとに確認して下さい。

- 1 学校名は、在学の学校名を記入して下さい。
・予約出願者の場合は「学校名」・「学年」・「在学所在地」は中学校を記入して下さい。
・学校種別欄：『国公立・私立』、通学区分種別欄：『自宅・自宅外』の区分に○をつけていない記入漏れが多いので注意して下さい。(祖父母宅からの通学は「自宅」となるので注意)
※がついている欄は全て○をつけて選択して下さい。
なお、※貸与月額欄は希望する貸与金額に○をつけること。
- 2 同一生計の家族とは、家計支持者の収入で生活している人全員のことです。(単身赴任・入院・県外での修学・扶養している祖父母等で別居していても、家計支持者の収入で生活している人は同一生計です。)
- 3 同居・別居の別
別居に○がついている場合は、再度同一生計か確認して下さい。
※単身赴任者の場合は、単身赴任証明書や住民票、又は最新の公共料金の領収書のコピーなど、赴任先の分かる書類を添付して下さい。
(特別な控除の⑥欄：71万円の控除が可能となります。)
- 4 所得の種類
・給 与・・・俸給、給料、賃金、役員報酬、年金、恩給、賞与、専従者給与、生活保護扶助料等の収入。
・給与外・・・自営業・農業・漁業・保険外交等による収入。
・未収入・・・父母のいずれかが願書提出時において、無職(求職活動中・専業主婦等)又は失業中で収入がない場合は未収入とし、現況を願書裏面の『奨学金を希望する理由』欄に記載して下さい。(年金の受給やアルバイトによる収入等がある場合は、必ず収入に関する証明を添付する事)(P14参照)
- 5 収入・売上金額：P4～P12を参照し確認して下さい。
※収入の分かる書類が添付されているか、現在も同じ職場で働いているかを確認して下さい。
給 与⇒所得証明書の「給与収入額」あるいは源泉徴収票の「支払金額」
給与外⇒確定申告書(控)の「収入金額」
- 6 所得金額：次の書類を参照し記入して下さい。
・給 与・・・『推薦事務要領』(P14～P15)の給与所得金額早見表。
従たる家計支持者は、同(P16～P19)の給与所得早見表。
・給与外・・・確定申告書(控)の「所得金額」
- 7 就学者控除額：特別控除額表(『推薦事務要領』のP11)を参照し、記入して下さい。
※高校生以上の就学者は、生徒手帳のコピー若しくは在学証明書が添付されているかを確認して下さい。生徒手帳のコピーの場合は、有効期限の範囲内であるかどうか、有効期限の記載がない場合、発行年度が今年であるかどうか、あるいは年度毎の更新履歴(担任印等)があるかどうかを確認して下さい。
今年度有効であることが明示されていないものは証明になりませんので注意して下さい。
※予約出願者本人の控除額は、**一律35万円**です。
- 8 特別な控除：添付されている書類を元に控除額を記入して下さい。ただし、父子・母子家庭を証明する書類はないので、家族構成で確認して下さい。
- 9 世帯人員：同一生計の家族の人数。世帯人員数によって、所得基準額が異なるため、必ず世帯人員を確認して下さい。

※ 願書の太枠の箇所は、必ず学校で記入願います。①・②・⑨・⑩・⑪・⑫

採用になった場合に提出する『奨学生貸与願』には、第二連帯保証人(第一連帯保証人とは別生計で、原則長崎県内に居住し、収入のある成人者で、卒業時に満65歳以下の者)が必要となります。又、第一・第二連帯保証人については、印鑑登録証明書のある印鑑が必要となることを、あらかじめ御指導下さい。

願書（裏）

10

奨学金を希望する理由

奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを詳しく記入してください。
（緊急出願者の場合は、下段もご記入ください）

（例）父の会社は年々の不況で業績が下がり、年々給与も低下しております。母も働いておりますが、県外の私立学校に通っている姉の仕送りや、障害者の祖母の介護費等もあり、生活は厳しい状況です。兄は現在就職活動中のため未収入です。家計の負担を少しでも軽くするため、奨学金の貸与をお願いします。卒業後は、就職し責任をもって返還していきます。

11

緊急出願者

事由発生年月日 平成 年 月 日（発生日を証明する公的機関等発行の書類を添付すること）

※理由（○で囲む）

①家計支持者の解雇（会社倒産等） ②家計支持者の死亡・離別 ③家計支持者の破産
④病気・事故・会社倒産・経営不振その他家計急変により、世帯の家計が支出増大・収入減少
⑤災害（火災・風水害・震災等）により、世帯の家計が支出増大・収入減少
⑥他都道府県の奨学生であった者の家計支持者が転居したため奨学金停止

奨学金貸与の状況

採用年度	学校名	氏名	本人との続柄
H ×	長崎県立 高等学校	長崎 太郎	兄
H	私立 × 学園	長崎 花子	姉

12

※印の欄は該当のものを○で囲んでください。

※日本学生支援機構への出願の有無（予定を含め必ず記入）
（大学等出願者及び高等専門学校のみ）

有（第一種・第二種） ・ 無

・日本学生支援機構の奨学金に採用された場合は、本会と日本学生支援機構のいずれかを選択していただきます。
・本会においては、日本学生支援機構との併給を禁止していることから、大学等を通して採用状況を照会することがあります。

14

13

上記の記載に相違はありません。貴会の奨学生として採用くださるようお願いいたします。
また、採用のうえは、貴会奨学金貸与規程に従い奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学金の返還についてもその義務を履行します。
以上、第一連帯保証人と連署して誓約します。

平成 年 月 × 日

本人氏名
（自署押印）

長崎 育子



第一連帯保証人氏名
（自署押印）

長崎 英雄



公益財団法人 長崎県育英会理事長 様

⑨印鑑は印影の異なるものを押印してください。スタンプ印不可。

15

注3 貸与時に第二連帯保証人（第一連帯保証人と別生計で原則長崎県内に居住し、返還開始時に65歳以下）を必要。

上記の者は、貴会の奨学生として適当と認められるので推薦します。

平成 年 月 日

公益財団法人 長崎県育英会理事長 様

市町長 氏名

印

（注4）市町長の推薦は大学等奨学生出願者のみ記入してください。

<個人情報の取り扱いについて>
出願書類の個人情報は、採用に係る審査・選考・決定及び決定の通知に際し、貴会奨学金貸与規定等に従い使用されることに同意したうえで申し込みます。

市町及び学校担当者氏名

林

16

- 10 希望の理由欄：家庭状況などを詳しく記入してもらい、現状を確認。
- 11 奨学金貸与の状況：本会の奨学金の貸与を受けた人について記入してもらい、確認。
- 12 日本学生支援機構への奨学金の出願の有無：記入漏れが多いので注意。（高専のみが該当）
- 13 日付：作成日又は提出日を記入してあるか確認。
- 14 本人・第一連帯保証人氏名：本人・第一連帯保証人各自の自署であるかを確認。
- 15 本人・第一連帯保証人印鑑：印影が異なるかを確認。シャチハタ等のスタンプ印は不可。
- 16 担当者の署名又は押印をお願いします。